

SHE MEETS SKATE!!

今を時めくガールズスケーターをご紹介♪

彼女たちの“スケボーとの出会い”を知ったあなたは、明日のガールズスケーターかも!!

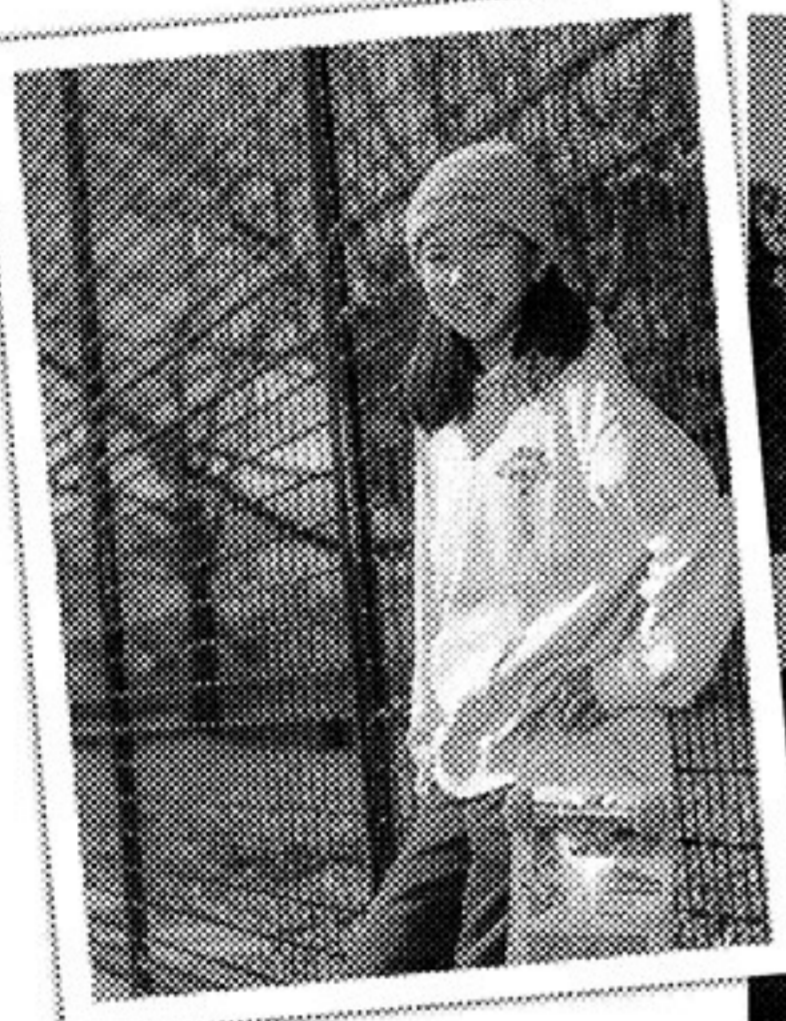


Photo by 高田佳央

NAME

おだ ゆめか
織田 夢海

▲世界を驚かせたフロントKグラインド!!

世界で活躍中! 成長著しい
日本2位のトップスケーター!

PROFILE

【生年月日】2006年10月30日

【出身】愛知県

【スケーター歴】18年

【憧れのスケーター】Rayssa leal(ブラジル出身、
2008年生まれとこちらも若きスケーター!)

【影響を受けたスケーター】西村碧莉(日本の女子
ストリート競技の第一人者!)

【靴のサイズ】24.0cm

【スポンサーブランド】DC SHOES、ムラサキス
ポーツ、RIDERS FACT mozo、スケートキャン
デー、fullon eyewear、grizzly griptape japan

家からスケートパークまで車で10分

スノボーのオフトレーニングとして、夢海さんはスケボーをはじめました。なぜスケボーに没頭していったのかは「あまり覚えてないんです…」という夢海さんでしたが、The Dog Bowl Nagoyaというパークまで車で10分だったのも理由の1つでしょう。当時そのパークには、同世代のスケーターはいなかったようですが、指導してくれる先輩スケーターが、彼女を後押しします。「お兄さん、お姉さんという以上に、年の離れた友達でありライバルに近い存在でした」そんな環境で、夢海さんはメキメキ頭角を表していくのです。

最初のコンテストで3位!

「The Dog Bowl Nagoyaがボウルとランプがメインのパークなこともあって、最初の大会はランプで出場しました。その時3位に入賞できて自信がついたんです」と夢海さん。その後、彼女はストリートの大会にも出場することに。コンテストを控えた夢海さんは、当時まだ未完成だったオーリーをひたすら練習しました。その際の印象深い練習が“物越え”。その名の通り、倒したカラーコーンなどの障害物を飛び越える練習ですが、着地に失敗すれば、目も当てられません。「ケガはよくしましたが、“物越え”のおかげで成長できました」と、夢海さんご本人はあっけらかんと振り返ってくれました。う〜ん、すごい…!

海外遠征は慣れないけれど…

今や世界のトップスケーターとなった夢海さんも「毎回、慣れないですしめっちゃくちゃ緊張します」とのこと。そんな彼女の海外遠征必須アイテムはカップヌードルと日本のお米! 現地の食事が合わない場合に備えての、お守りのような存在なのです。

みんなライバル、みんな仲間

他の競技に比べ、選手間の交流が盛んなスケートボード。夢海さんも世界的なコンテストSLSを通じて国内、国外問わず数々のスケーターとの仲を深めていきました。そんな夢海さんが思い返す最高の瞬間は、2019年のDew Tour Long Beach。「ダウンレールで、大技・フロントサイドプラントをラスト1回で決められたのは最高でした!」と思い返してくれました。この勝負強さも彼女の武器なのです!

ゆめかさんのことをもっと知りたいあなたはコチラ♪
https://www.instagram.com/sketchy_ym/